

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年08月17日

計画の名称	日南市における『循環のみち下水道』の持続と進化（重点計画）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	日南市													
計画の目標	・健康で快適に暮らせる生活環境の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,283	A	2,283	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R04末	R06末
1	下水道処理人口普及率を41.4%(H30)から45.7%(R06)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	41%	44%	46%
	[下水道を利用できる人口（人）] / [総人口（人）]			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	吾田污水 1 号幹線（未普及 解消）	L=2.2km	日南市	■	■	■	■	■	435		-
	A07-002	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	吾田污水 1 号枝線（未普及 解消）	A=24ha	日南市	■	■	■	■	■	673		-
	A07-003	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	星倉污水枝線（未普及解 消）	A=7ha	日南市	■	■	■			182		-
	A07-004	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	飫肥污水幹線（未普及解 消）	L=0.4km	日南市			■	■	■	135		-
	A07-005	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	飫肥污水枝線（未普及解 消）	A=10ha	日南市			■	■	■	374		-
	A07-006	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	飫肥污水送水管（未普及 解消）	L=0.3km	日南市			■	■	■	32		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	内之田污水接続管（未普及 解消）	L=2.3km	日南市	■	■	■	■	■	173		-	
	A07-008	下水道	一般	日南市	直接	日南市	管渠（ 污水）	新設	坂元污水接続管（未普及 解消）	L=2.4km	日南市	■	■	■	■	■	249		-	
	A07-009	下水道	一般	日南市	直接	日南市	-	-	公共下水道事業全体計画 変更	全体計画変更	日南市				■	■	30		-	
											小計						2,283			
											合計						2,283			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

宮崎県日南市下水道にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

事業終了後

公表の方法

日南市ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備により、H30からR6までに新しく22.33haの供用開始を行ったが、普及率は目標の達成に至らなかった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き下水道未整備区域の整備を進めていく必要があるが、当面は財政状況を確認しながら事業を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	〔下水道を利用できる人口〕 / 〔総人口〕		
	最 終 目標値	46%	未普及事業を行っているが、行政人口が減少する中、整備区域内人口についても減少しており、普及率はほぼ横ばいで、目標値の達成には至らなかった。
	最 終 実績値	43%	